

令和5年度 事業計画

公益社団法人

竜王町シルバー人材センター

1. 基本方針

わが国は世界的に例を見ない人口減少、少子高齢化が進行しており、総務省が公表している、わが国の総人口（令和4年9月1日現在）は、1億2,497万人となっており、前年に比べ58万人減少している一方で、65歳以上の高齢化人口は3,624万人と前年に比べ4万人増加しており、高齢化率が29.0%に達し、令和12年には31.2%になると見込まれています。

新型コロナウイルス感染症の状況は、5月には2類から5類への引き下げも決まっております、社会経済活動の正常化が進みつつある中、経済は緩やかな持ち直しが続いているが、一方で世界的なエネルギー、食料価格の高騰や景気後退懸念など、わが国の経済環境は不安定な見通しとなっています。

また、本年10月よりいよいよインボイス制度が施行され、「特定受託事業者に係る取引の適正化に関する法律」が新たに設定されるなど、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しさを増しているが、今後も状況を注視しながら事業を推進する必要があります。

シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、地域の特色や実情を踏まえて積極的な取組を強化していく必要があります。

第2次100万人計画は、コロナ禍の影響により、会員数が下げ止まらない状況にあり少子高齢化の進行、地域における人手不足、政府の進める高齢者就業政策の方向性を踏まえた上で、会員拡大を核に据えて、女性会員の拡大、退会の抑制、就業機会の開拓に取り組み、コロナ禍前の水準（令和元年度数値）の会員数に回復させることを目標とします。

令和5年度においては、こうした状況に鑑み、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持しながら、「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「参画する」のシルバー人材センター事業をより高齢者に喜ばれる事業として推進するため、その基礎となる「会員拡大」「就業機会の拡大」に向け、デジタル技術を取り込んだ事業展開を推進し、高齢者の多様な形態による就業機会の提供、生きがいの創出や地域社会への様々な活動の情報提供、技能講習会の開催により、高年齢者のニーズに対応した機能の確立を図ります。

「安全・安心なシルバー事業」の確立を図ることは、シルバー事業遂行の基幹をなすもの

であり、シルバー組織を挙げて安全対策のなお一層の推進を図り、傷害事故や賠償責任事故の撲滅を図るため、安全適正就業講習会、安全衛生委員会の開催など一層安全対策の強化に努めます。

以下の重点項目を中心にシルバー事業を積極的に推進します。

2. 主な事業内容

(1) 会員の拡大、就業開拓、就業機会の拡大

少子高齢化が急速に進む今日において、元気な高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。豊かな経験や能力を活かし多様な就業機会の展開を図り地域社会の担い手として積極的に就労し、会員が社会参加活動を通して、健康づくりや仲間づくり、そして自分づくり、高齢者の生きがいにつながるというシルバーの魅力をあらゆる機会に発信していきます。

- ①就業開拓用パンフレット 『竜王町のいろいろなお仕事お引き受けします！』等全戸配布
- ②『会員を募集しています！』パンフレットの全戸配布による会員の拡大
- ③Webを活用した入会案内、入会申込みの促進
- ④デジタル化整備促進事業による情報提供
- ⑤竜王町内に進出の新規企業へ、会員の経験、知識、技術、技能を活かした就業開拓
- ⑥各地域へ出掛けて会員募集、入会説明会の開催
- ⑦入会動機で一番多い『会員からの紹介』を会員の口コミによる「ひとり一会員紹介運動」をさらに推進
- ⑧退会理由を把握し、加齢との理由から就業は望まないという会員には、サークル活動やプラチナ会員への誘導など、会員に直接声掛けをして退会の抑制の推進

就業機会の開拓

- ①役職員、会員が一体となり、継続受注や新規就業の開拓に向けて企業、事業所へ訪問活動等による就業の確保
- ②シルバーへの発注を促すチラシを自治会や企業等、受注先の対象ごとに作成し、ポスティングにより受注の開拓
- ③今後、益々需要が見込まれる地域に密着した生活支援事業、その他の成長が期待される請負就業分野での取り組みの推進

就業機会の提供

- ①就業情報の掲載を毎月のセンターだよりにより発信し、会員への十分な情報提供

(2) 安全適正就業の徹底および安全の確保

「安全・安心なシルバー事業」の運営は、「安全第一」「安全は全てに優先する」シルバー人材センターの基幹をなすものであり、安全対策のなお一層の推進を図ります。また、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を始め、法令遵守を徹底するとともに事故原因はちょっとした気の緩み、注意不足によるものがほとんどであることから、加齢からくる体力の低下を自覚し、更なる注意力を高めて、就業中はもちろん就業途上においても交通安全意識の徹底に努めます。

会員の安全は最重要課題であり、安全就業を徹底するために、次の事項を重点に推進を図ります。

- ①「安全適正就業委員会」の開催
安全衛生委員会の開催・・・全国、県内の事故発生状況等の説明
安全パトロールの開催・・・就業現場を確認、安全意識の向上
- ②「安全適正就業推進委員」との連携
- ③「安全適正就業講習会」の開催・・・受講証の発行
- ④7月「安全就業推進強化月間」を設定 安全標語の募集、決定、活用
- ⑤労働者派遣事業の就業会員接遇（キャリアアップ）講習会の開催
- ⑥あらゆる機会を通じて安全意識の徹底とシルバー『センターだより』などで情報の提供
- ⑦県下シルバー人材センター統一の『安全就業作業マニュアル』（剪定・除草・清掃）を遵守するなか、剪定・除草・清掃作業など県内シルバー人材センターで統一された『作業前後チェックシート』の運用を徹底
- ⑧職群班安全講習として、刈払機取扱作業安全教育、安全運転講習を開催するほか、剪定伐木等の業務（チェーンソー取扱い）、除草作業（草刈機）に係る技能講習の開催
- ⑨発生した事故すべてにおいて、会員の事故報告書を聴取し要因分析を行い内容により臨時の安全衛生委員会で現場を検証し、再発防止策を会員に周知

(3) 生きがいの充実と社会参加の促進

社会参加事業として、一般町民参加の事業、講習会の開催実施

①子育て支援事業 シルバーキッズルーム“きらきら”『ふれあい交流会』

- ② 講習会の開催
- ・庭木の剪定作業
 - ・しめ縄作り
 - ・しめ縄のリース作り
 - ・障子の張り替え作業
 - ・料理教室講習会
 - ・女性を対象にした講習会

社会参加ボランティア活動の推進

- ①竜王町役場周辺、防災センター、公民館、図書館、保健センター、竜王こども園北側景観保全場所の清掃・除草作業
- ②竜王こども園の運動会前のグラウンド等の除草作業
- ③春と秋の全国交通安全週間の街頭交通安全のぼり旗啓発
町防災センター前、綾戸信号機前交差点の2か所
- ④秋の『シルバー環境美化週間』県下一斉清掃
町内河川堤防のごみ拾い清掃作業

(4) 独自事業の推進

剪定枝をチップ化し、発酵させた堆肥の生産・販売については、好評を得ているので事業の継続実施

熊手製作事業は、10年目に入り順調に推移している、引く続き事業拡大に向けて年間300本以上の生産・販売の推進、熊手班メンバーの募集と人員の拡充と併せて、門松づくり・しめ縄づくり製作と販売の促進

- ①独自事業は、就業機会の拡大や自主財源の確保、シルバー事業のイメージアップに繋がるもので、会員の希望・能力とニーズを把握した事業の推進
- ②令和4年度創設した作業所建設に向けて継続して建設積立金を実施

(5) 有料職業紹介事業

職業紹介事業が有料になり、竜王町シルバー人材センターでは年に1～2件の合わせがある程度で、まだ有料の実績はないので一般町民および会員への情報提供、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高齢者に対して、ハローワーク等関係機関との連携を図りつつ、相談業務の推進と就業機会の提供と拡大を行い適正かつ適切な職業紹介の実施

(6) 普及啓発活動

竜王町シルバー人材センターの事業の意義を広く一般市民の皆さんに周知を図るとともに、介護・子育て支援事業のほか、ボランティア活動や独自事業の推進

会員には、毎月1回シルバー『センターだより』を発行するとともに、シルバーワークプラザ玄関横の『お知らせ掲示板』を活用し、一般市民および会員への普及啓発

- ①ホームページの活用による普及啓発活動の実施、広告媒体、チラシ、リーフレット、会員募集アンケート調査等、または説明会の開催
- ②10月普及啓発月間 秋の『シルバー環境美化週間』県下一斉清掃の実施
町内河川堤防清掃作業 10月18日 水曜日 予定
- ③センター広報誌『シルバー竜王』は、シルバー活動を理解いただくため、発注者や会員の声を積極的に掲載し、親しみのある広報誌づくりへの推進
- ④ ボランティア活動などイベント時には、シルバー名入りののぼり旗を立て、帽子、ウインドブレーカー着用し啓発、推進
- ⑤センター運営の推進役として女性会員がつくる『レディースの会』など中心にサークル活動の推進
- ⑥地域イベント開催時に「シルバーブース」の積極的な出店や、シルバー独自活動を積極的にPRを展開し、会員にとっても地域にとっても魅力あるセンター運営の事業推進